

青ヶ島の火山活動解説資料（平成 30 年 12 月）

気象庁地震火山部
火山監視・警報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

活動概況

- ・噴気など表面現象の状況（図 1、図 2）

手取山監視カメラ及び尾山展望公園監視カメラ（ともに丸山の北北西約 1 km）による観測では、丸山西斜面に噴気は認められません。

- ・地震や微動の発生状況（図 3 - ）

青ヶ島付近を震源とする火山性地震、火山性微動は観測されていません。

- ・地殻変動の状況（図 3 - 、図 4）

GNSS¹⁾連続観測では、火山活動によるとみられる変動は認められません。

1) GNSS (Global Navigation Satellite Systems) とは、GPS をはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称です。



図 1 青ヶ島 丸山西斜面の状況（12 月 8 日 手取山監視カメラによる）

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ（https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOC/K/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php）でも閲覧することができます。

次回の火山活動解説資料（平成 31 年 1 月分）は平成 31 年 2 月 8 日に発表する予定です。

この資料は気象庁のほか、国土地理院、国立研究開発法人防災科学技術研究所及び東京都のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』『数値地図 50mメッシュ（標高）』を使用しています（承認番号：平 29 情使、第 798 号）。

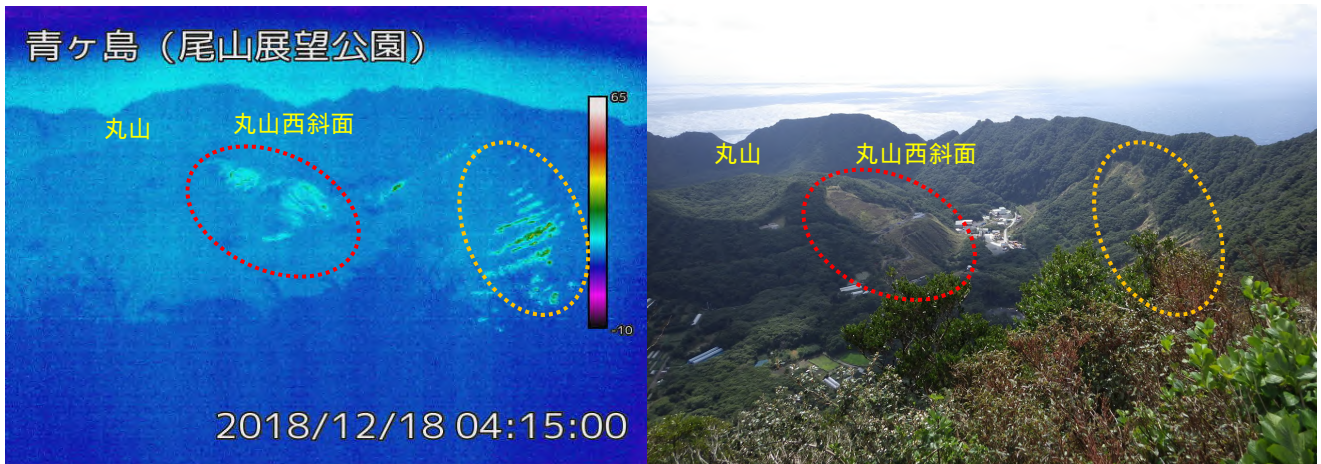


図 2 青ヶ島 カルデラ内の地表面温度²⁾の状況(左: 12 月 18 日 尾山展望公園監視カメラによる、右: 2016 年 3 月 15 日に撮影した同場所からの写真)

・地熱活動(赤点線丸及び黄色点線丸)に変化は認められません。

2) 赤外熱映像装置により観測しています。赤外熱映像装置は、物体が放射する赤外線を感じて温度を測定する測器で、熱源から離れた場所から測定することができる利点がありますが、測定距離や大気等の影響で実際の温度よりも低く測定される場合があります。

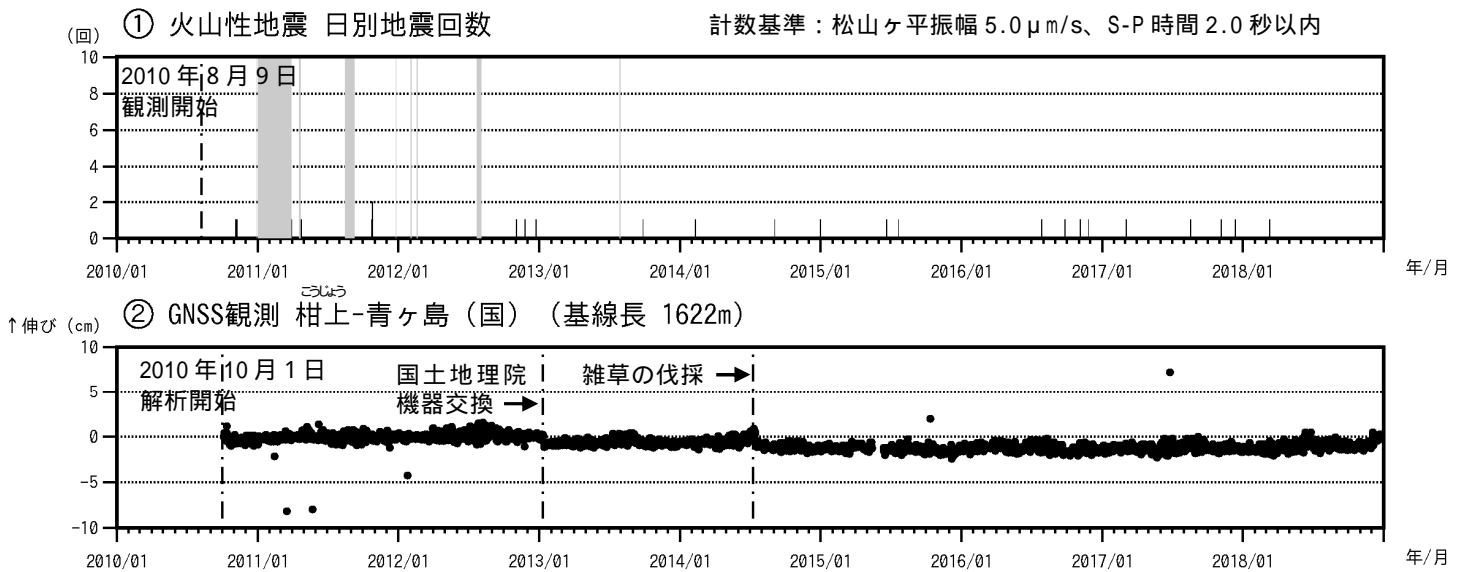


図 3 青ヶ島 火山活動経過図(2010 年 8 月 9 日～2018 年 12 月 31 日)

グラフの灰色部分は機器障害による欠測。

(国): 国土地理院、図 4 の GNSS 基線 に対応。グラフの空白部分は欠測。

